

4 指導法改善のポイント

国語【小学校第6学年】

正答の状況

年度		平成30年度		平成29年度	
種別		国語A	国語B	国語A	国語B
平均 正答数	県	8.4問／12問	4.2問／8問	11.3問／15問	5.0問／9問
	全国	8.5問／12問	4.4問／8問	11.2問／15問	5.2問／9問
平均 正答率	県	70%	53%	75%	55%
	全国	71%	55%	75%	58%

今回の調査結果から明らかになった成果と課題

- 成果1 < A問題 >** 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くこと
- 課題1 < A問題 >** 自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考えること
- 課題2 < B問題 >** 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと

成果が見られた問題の概要例

○成果1 < A問題 > 設問番号 **5**

【設問の概要】
児童の書いた【春休みの出来事の一部】の文章の中から主語と述語のつながりのおかしいものを選択し、正しく書き直すことができるか。

【平均正答率 (%)】				
5	本県	全国	差	自校
		38	36	+2

【学習指導要領における領域・内容】
〔第3学年及び第4学年〕
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項
(キ) 修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をもつこと。

【春休みの出来事の一部】文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

選んだ文の番号……

書き直した一文

(問) 部と……部とのつながりが合っていない文の番号を、①から④までの中から一つ選んで書きましょう。また、……部はそのままにして、文の意味が変わらないように、選んだ文を正しく書き直しましょう。

①はくは、校庭で野球の練習を毎日がんばりました。その努力は見事に実りました。②はくたちのチームは、地区大会で優勝したのでです。③今年の春休みは、とてもじゆう実したものであります。でも、反省していてもあります。④反省点は、用具の手入れをあまりしませんでした。これからは、練習だけではなく、用具の手入れもしっかりがんばりたいと思います。

- 平均正答率は38%である。平成27年度全国学力・学習状況調査に本問同様、主語に関する問題が2問出題された。1問は全国比-13ポイント、もう1問は全国比-1ポイントと、文の構成に関して課題があることが明らかとなった。その後、鹿児島学習定着度調査でも繰り返し出題し、改善に取り組んできたため、若干の向上が見られた。
- 設問の指示に従い、④を選択し、主語に合わせて述部を「何だ」の型で「用具の手入れをあまりしなかったことです。」と書き換えることができるかが問われている。
- しかしながら、選択肢④を選べなかった児童が未だ4割を超えていた。主語と述語の関係は、文の骨格をなすものである。相手や目的に応じ、伝えたいことを正しく伝えられる文が書けるように、今後も主語・述語の関係など文の構成を正しく理解させられるように指導を継続し、確実な定着を図ることが必要である。

課題が見られた問題の概要，問題点とその改善点 (A問題)

課題が見られた問題の概要

▲課題 1 < A問題 > 設問番号 2

【設問の概要】

自分の想像したことを物語に表現するために，文章全体の構成の効果を考えることができるか。

【学習指導要領における領域・内容】

〔第5学年及び第6学年〕

B 書くこと

イ 自分の考えを明確に表現するため，文章全体の構成の効果を考えること。

【言語活動例との関連】

〔第5学年及び第6学年〕

B 書くこと

ア 経験したこと，想像したことなどを基に，詩や短歌，俳句をつくったり物語や随筆などを書いたりすること。

【平均正答率 (%)】

2	本県	全国	差	自校
	72	74	-2	

問題点とその改善点

<誤答傾向>

正答	選 択 肢	類型 (%)
	1 と解答しているもの	6
◎	2 と解答しているもの	72
	3 と解答しているもの	16
	4 と解答しているもの	6
	上記以外の解答	0
	無解答	0

- 平均正答率は72%である。宝箱を見つけ，カギと紙きれを見つけることの繰り返しではあるが，物語が展開される場所に変化を加えたり，見つけ出した紙きれをつないでいくと地図が完成するといった書き手の構成の工夫を捉える問題である。
- 「1」を選択した児童は，物語がゴールに向かって順を追って展開されていることを「出来事のつながりが少しずつ分かること」と捉え，時間の経過を考えられていない。
- 誤答傾向の高かった「3」については，「読者が展開に興味をもって読める」という構成の工夫がもたらす効果についての記述のみに着目して選択したものである。
- 「4」を選択した児童が【物語の構成】のどの言葉によって，時間の流れを読み取ったのか明らかにしたい。
- 物語の創作を学習する際，児童が物語の内容にのみ注意が集中してしまう場合がある。創作する活動を指導する際，活動を通して児童に何を身に付けさせるのか指導者が評価する規準を明確にして，指導してほしい。今回は，設問の中に「構成の『中』を工夫しました」とあり，物語の構成の効果を捉えて創作する場面を出題している。
このような場面の指導に当たっては，読み手に期待をもって読み進めてもらうにはどのような展開にするべきか課題意識をもたせながら活動させることが大事である。作品を交流する際にも，書き手の工夫は何か気付けさせることが，考えの共有につながる。創造的に表現することの楽しさが，書き手としての自己を成長させるとともに，読み手としての見方や考え方を育てることにもつながる。

コラム① 確かな学力の定着に向けて・・・調査問題の効果的な活用を！

全国学力・学習状況調査の過去問題の扱い方については，文部科学省からは，調査実施前に，授業時間を使って集中的に過去の調査問題を練習させ，本来実施すべき学習が十分にできないといったことがないよう，注意喚起がなされています。一方で，文部科学省は，全国学力・学習状況調査で出題される問題は，児童生徒がそのときまでに学んだ事項のうち最低限身に付けておくべき学力の定着状況を確認する観点から精選されているものであり，児童生徒の学習状況等に適切に対応した教材の一つとして取り扱われる限りにおいて問題はないとしているところです。



つまり，過去の調査問題を児童生徒の学習状況に応じて，年間を通じて意図的・計画的に活用することは重要である，ということです。

各学校において，是非，過去の全国学力・学習状況調査問題は，良問であるという認識をもちながら，児童生徒の確かな学力の定着を目指して有効に活用してください。

課題が見られた問題の概要、問題点とその改善点 (B問題)

課題が見られた問題の概要

▲課題2 < B問題 > 設問番号 2 二

【設問の概要】
給食の献立である「かみかみあえ」を各家庭にすすめるという目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことができるか。

【平均正答率 (%)】				
2 二	本県	全国	差	自校
	15	14	+1	

【学習指導要領における領域・内容】
〔第5学年及び第6学年〕
B 書くこと
ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること
【言語活動例との関連】
〔第5学年及び第6学年〕
B 書くこと
ウ 事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと。

000 条件付

【紹介する文章】と【保健室の先生の話から分かったこと】から言葉や文を取り上げて書くこと。

書き出しの言葉に続けて、50字以上、80字以内にとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

000 条件付

【紹介する文章】と【保健室の先生の話から分かったこと】から言葉や文を取り上げて書くこと。


書き出しの言葉に続けて、50字以上、80字以内にとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

保健室の先生の話から分かったこと

食べ物をよくかむと、

- 口のまわりのきんにくを動かすことになり、のうの働きが活発になる。
- だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つので、むし歯になりにくい。
- まんぷく感が得られ、食べ過ぎにならない。
- 食べ物本来の味が分かるので、うす味の食事に慣れる。
- だ液の量が増え、消化がよくなる。

【かみかみあえ】



「かみかみあえ」は、するめが入っていて、よくかんで食べるこんだてです。そのため、このような名前のほかに、にんじんやきゅうり、もやしなどの野菜が入っていて、栄養のバランスやいろどりも考えられています。

中々風味がレタスの味やするめのうま味が野菜にしみこんでいます。

問題点とその改善点

※ 類型は小数第1位を四捨五入したため、類型の合計が100にならないこともある。

〈誤答傾向〉

正答	解答類型	類型 (%)
	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① むし歯を防ぐ効果について【紹介する文章】と【保健室の先生の話から分かったこと】から以下の内容を取り上げて書いている。 a よくかむこと b だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つこと ② 【おすすめする文章】に相応しい言葉を用いて書いている。 ③ 書き出しの言葉に続けて、50字以上、80字以内で書いている。 〈正答例〉 するめが入っていてよくかんで食べるこんだてです。よくかむため、だ液がたくさん出て、口の中をきれいに保つので、むし歯になりにくいのです。	
◎	条件①と条件②、③を満たしているもの	15
	条件①と条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	0
	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの	1
	条件① a, ②は満たしているが、条件① bは満たしていないもの	29
	条件① b, ②は満たしているが、条件① aは満たしていないもの	9
	条件① aは満たしているが、条件① b, ②は満たしていないもの	6
	条件① bは満たしているが、条件① a, ②は満たしていないもの	2
	条件②は満たしているが、条件① a, bは満たしていないもの	17
	上記以外の解答	20
	無解答	2

- 平均正答率は15%である。目的に応じて複数の資料から適切な内容を取り上げて、それらを関係付けて理解したり、表現したりすることに課題がある。
- 正答条件① aは【紹介する文章】から、正答条件① bは【保健室の先生の話から分かったこと】から取り上げなければならないが、約3割の児童は必要な情報の全てを取り上げ、表現することができなかった。
- 本問題を解答するためには、複数の資料を読んで「かみかみあえのよさ」に当たる情報を取り上げ、該当部分より前の段落で書かれた情報を省き、解答する必要がある。今後、指導に当たっては、複数の資料から必要な語句を丸で囲んだり、サイドラインを引いたりして情報を整理したり、情報を関係付けたりして理解し、表現に生かす学習を意図的に設定してほしい。